

車両検修業務の体制見直しについて 提案を受ける！

①主な内容

- (1) 勝田車両センター各班体制をユニット化・グループ化し業務の連携と融合を図る。
- (2) 土浦運輸区検修部門については、勝田車両センター所属とし、勝田車両センター土浦派出(仮称)とする

②箇所体制及び実施時期

具体的な体制や実施時期については、決定次第お知らせする。

③スケジュール

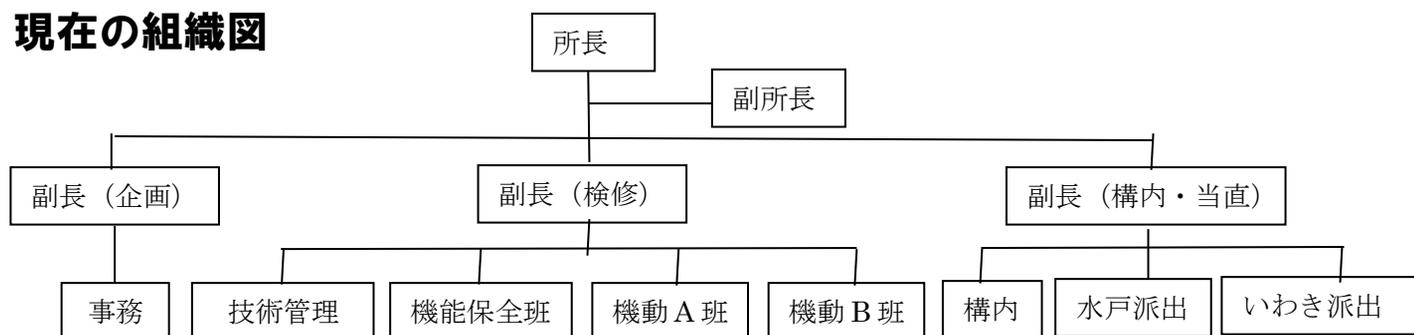
時期	2022年度第3四半期	2022年度第4四半期
社員説明	▼10月	▼実施
体制構築に向けた準備	—————	
必要な教育訓練等	—————	

※スケジュールは状況により変更となる場合がある。

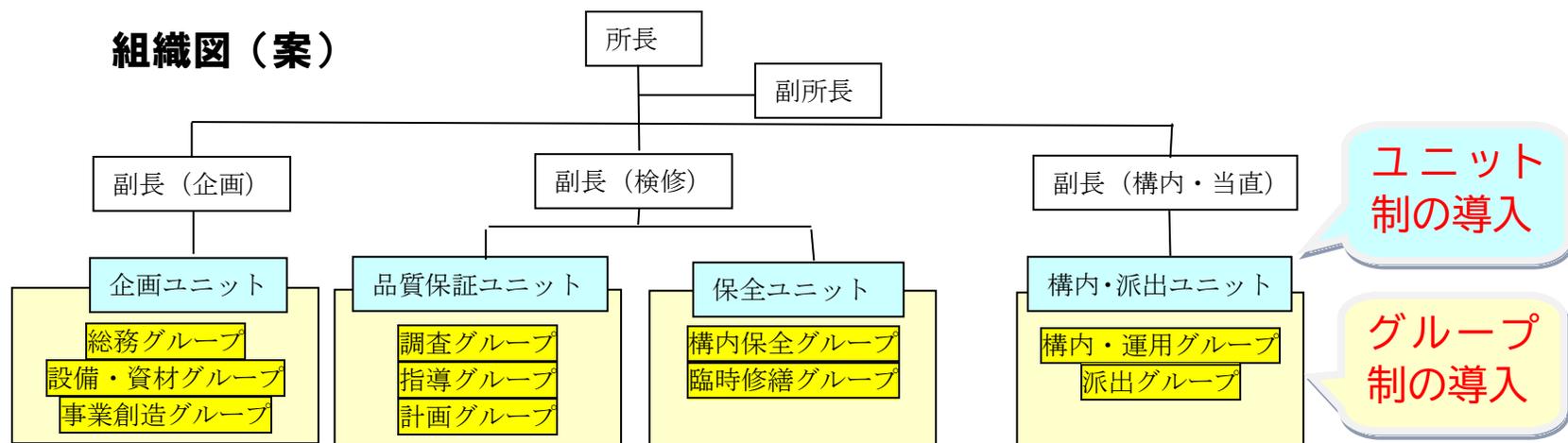
④その他

今後、水郡線統括センター検修部門及び水戸運輸区検修部門についても体制の見直しを検討していく。

現在の組織図



組織図(案)



主な労使議論

組合: 今施策の目的を明らかにすること。

会社: 生産性向上による経営体質の強化を実現することや人材育成である。

組合: 土浦運輸区検修部門を今回派出にする根拠と水郡線統括センターの検修部門及び水戸運輸区検修部門は今回実施しない根拠を明らかにすること。

会社: 6月に勝田車両センターが首都圏本部へ移管する。ライン管理の観点から今回体制を見直す。水郡線統括センターと水戸運輸区は気動車も扱っている。首都圏本部や東北本部と調整が必要なため、体制の見直しを検討する。

組合: 今施策の実施時期と要員体制について明らかにすること。

会社: 現在調整中である。決まり次第、示す必要があれば示していく。

安全で働きやすい職場をつくり出すため、JR東労組水戸地本は様々な施策に向き合います！